

自己評価結果等報告書

令和 8 年 2 月 16 日

1 事業所情報

事業所の名称	一般社団法人みかさの里 チャイルドケアエイトぱれっとぷらす		
事業所番号	4650800073		
事業の種別	☐	児童発達支援	☒ 放課後等デイサービス
所在地	鹿児島県出水市大野原町308		

2 公表状況

公表日	令和	8 年	2 月	16 日
公表方法	☒	ホームページ	(URL	mikasanosato.net)
	☐	会報等	(	)
	☐	その他	(	)

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	山元 安則
連絡先 (TEL)	0996-79-3232

※公表している自己評価表を添付すること。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	一般社団法人みかさの里 チャイルドケアぱれっとぶらす		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日 ～		令和8年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日 ～		令和7年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	5領域や利用児童に合わせた豊富な活動	日々のミーティングにて、活動プログラムが固定化しないように立案し、実施している。	日々の活動を通して将来、自立に向けた活動を取り入れながら楽しく学べるように療育を工夫しながら行っていく。
2	子どもに寄り添った支援及び専門職派遣活動において難しい時は一緒に行ったり、声掛けして個別や小集団での療育を行う。	エイトグループで作業療法士・精神心理士・保育士等の派遣活動しており、職員のスキルアップに努めている。子どもの成長に合わせ、支援を工夫し、集団や個別にて支援を行う。卒業や次のステップに向けて必要なスキルを身につけられるような療育を行う。	派遣にいられた専門職の意見を参考に職員でミーティングを行い、一人一人に合わせた支援方法で楽しんで取り組んでもらい、成功体験を増やしていく。保護者・学校・関係機関を含め、共通理解を支援に反映させる。
3	保護者支援 家庭や学校での様子を共有し、支援に生かしていく。 また家族交流がなされた。	送迎の際、ご自宅での様子を伺ったり、エイトプラスでの様子をお伝えしたりして情報の共有を行っている。 春の親子遠足・プラス夏祭り・プラス運動会・年末餅つき大会など親子イベントが出来、大盛況だった。	話やすい雰囲気づくり、子どもから話を引き出す等の工夫を行い、支援の質を高める。 新たなイベントの計画や保護者の方へ丁寧な説明を行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部との交流が少なめである。	地域や同年代の子どもたちとの交流が少ない。 老人会や同法人内での交流は開催出来ているが、その他があまり出来ていない。	地域との関わりを行事の中に取り入れて交流やふれあいの場を多く作っていく。 年間行事として取り入れる工夫が必要。
2	行事・訓練・研修等の様子が分かりづらい。	イベントに関してインスタグラム、ライン等でお知らせしているが、伝わりづらい。	保護者を含めた行事等を増やし、交流の機会を設ける。 行事・訓練・研修等をお便り等でも様子を伝える。
3	短い時間での支援の質 個々にあった支援がうまく出来ていない時がある。	自ら発信できない子どもに対して細やかな支援が出来ていない部分があった。	個々に合った活動内容や対応の仕方の工夫、声掛け等集団の中での問い方など補助時の役割分担を行っていく。 小集団での療育・個々に合った療育と不定期でも取り組めるように努める。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 チャイルドケアぱれっとぱらす（放課後くらぶエイトプラス）

公表日 令和8年2月16日

利用児童数 20名

回収数 19/19

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19					事業所面談の際には活動の様子、子供の表情等を見て頂き、合わせて屋内も見ていただく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1		4		規定で定められた職員数を配置し、対応している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19					活動内容等に沿って、部屋の仕切りを変えたりそれに見合った線引き、指示が伝わりやすい環境設定は心掛けています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17			2	整理整頓、清掃は行われていると思うが、靴下が真っ黒になってくることがある。	毎日利用前には清掃を確実にしているがやり方の工夫をしていきたい。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	1				子ども達の個性や特性を理解できるよう日々職員間で情報共有を行いながら支援している。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16			3		支援内容と支援プログラムについては、職員間で話し合い、作成し、実施している。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	1				毎月の面談、定期的なモニタリングを基に事業所での進捗状況、併せて、保護者からの要望を汲み取り支援計画に反映させている。又、必要に応じて計画の見直しも随時行っている。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17			2		「本人支援」「家族支援」「移行支援」を網羅するように作成している。個人の成長状況を踏まえたうえで必要な項目を選択し、支援内容に組み込んでいる。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18			1		毎日、ミーティングにて当日利用の子供の支援目標を確認、共有し、当日の支援に反映させている。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17			2		朝礼・終礼のミーティングにて支援方法等について確認を行い、支援している。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	2	1	5	イベント的な事を行う場合は、事前において、児童クラブ等との交流については難しい状況にある。今後検討していこうと思う。	地域の老人会等との交流については行っているが、児童クラブ等との交流については難しい状況にある。今後検討していこうと思う。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	1				契約時に必ず行っている。又、変更等、追記等が発生した場合は、随時説明している。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19					モニタリングの際と、個別支援計画見直し時に行っている。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	1		4		個人情報に関わる事が多い為、家族支援については現状では個別で行う事が主である。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	18	1				事業所でのバイタル、加えて顔色様子等については都度連絡帳でお知らせし、急を要する場合は電話連絡等を行っている。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	2				6か月に2回は必ず、また必要に応じて面談をさせて頂いている。送迎等でも日々の様子を説明した時、困りごとの確認をする事がある。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18			1		基本的に、保護者と利用者の立場、気持ちに寄り添って接するように心掛けています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	2		3		保護者会についてはなかなか参加者が少なく実施できていない。お仕事の都合上一同に会える事が難しく、今後の課題である。親子での交流会は4回ほど実施しており、保護者同士の交流も図れている。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1		1		相談・連絡があった際には速やかに状況把握・説明が出来るような体制を整えている。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	1				日々の連絡帳や送迎時の口答説明、電話連絡を行っている。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19					園だよりで行事予定をお知らせしたり、ホームページには自己評価も公表しており、保護者と事業所の個人ラインにて動画等を配信している。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18			1		個人情報の取り扱いについては職員に入職時、説明・同意を得ている。日頃から周知徹底しており、書類保管に関しては施錠管理している。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	2		4		各種のマニュアルについては策定している。ラインにて画像を配信したり、インスタでも発信している。園だよりでもお知らせ検討する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	3		4		前年度は4月、8月に実施している。今後3月、8月の長期連休の時に実施予定です。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17			2		安全計画に基づき、感染症や事故などについて注意喚起・安全確認等に取り組みながら支援を行っている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17			2		事故等が発生した際には速やかに保護者様へ連絡を差し上げ、状況説明・報告をしている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19					楽しんで、笑顔で帰るを旨に子供の気持ちに立った支援を心掛けている。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	2			園外活動があった日はいつもより活動に対して話をしてくれます。	子ども達が楽しく通えるようこれからも、園外活動・イベントを入れながら職員間で工夫して取り組んで参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19					ご満足して頂けるよう、より一層精進して参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		チャイルドケアぱれっとぶらす（放課後くらぶエイトプラス）				公表日	令和8年 2月16日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		日毎の活動の際、利用者の特性等を考慮して個別、グループ分けして環境設定している。また、多目的室も利用している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		配慮されて適切に配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		2つの指導室を分けたり、一体化したり支援内容によって使い分けている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃を心がけ、実施している。	机、椅子の高さがばらつき、児童の足が床につかない。足乗せを設置している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		状況に応じて個別やグループ分けして利用している。勉強、排泄確認する部屋も設けている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		情報共有をしっかりとっている。	ミーティング内で業務改善に関して話し合う事や意見交換等を行い、質をあげていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		今回の評価表を基に改善事業に優先順位を施し、業務改善を行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員間でしっかり話す機会を設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者委員会の設置を検討中。現状では、保護者アンケートを真摯に受け止め業務改善に繋げる。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人全体での研修や事業所ごとの研修を定期的に実施している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		職員全員で児童1人ひとりの活動状況をミーティングし、フィードバックの場で共有、立案して適切に作成し、公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		利用者個々に合わせて適切な期間を設定しモニタリングを実施し、進捗状況を保護者と共有し、計画に反映させている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		モニタリングを行う前に、職員によるカンファレンスを行い、評価内容を児発管に上げている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		児発管が作成した計画書に沿った支援が行われている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		毎月の支援記録に利用者毎の単月目標を表記し、毎日のミーティング等にて確認を行い、支援を行っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		日常的な計画の遂行、支援内容の確認など元より、状況に応じてペアレントトレーニングや移行支援など適宜実施している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎日の朝礼後のミーティングにて職員全員で立案している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎日の朝礼後のミーティングにて職員全員で工夫している。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別支援と集団活動のバランスを考えながら日案、月案の作成を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		終礼での利用者の情報を基に翌日のミーティングにて振り返りを行い、課題の掘り起しと対策を協議している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼での利用者の情報を基に翌日のミーティングにて振り返りを行い、課題の掘り起しと対策を協議している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個別支援記録（ケース記録）を朝のミーティングにて意見交換しながら記入し、検証・改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		職員間でカンファレンスを行い、保護者との話の上で適切な見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		その時その時の状況に応じて利用者に沿った組み合わせで、支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自分で考えて選べるような支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者や児童の状況を把握できている者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		事業所では状況に応じて常に参画できる体制は作れているが、関係機関との日程調整に苦慮している現実がある。	病院・保育園等連携がとれていないので検討していきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		情報共有を適切に行っている。	当日のミーティングにて受け入れ態勢の確認、連絡、注意事項等を共有し、イレギュラー対応に備えている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		児童発達支援事業所との連携はとれており、情報共有されている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			現時点では、利用児童が小学生の中心である為就労移行の実績は無いが、今後考慮していかなばならない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		療育支援事業等の打診を行い、必要に応じて依頼している。	地域児童発達支援センター連携を検討していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		未就学児との活動や訓練を計画、実施できている。	地域の他の子どもたちとの交流も検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			参加出来ていないので今後検討していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の連絡帳でのやり取り、必要に応じてライン交換など出来得る限り情報共有には努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者会等の開催にて意見交換を行っているが、仕事の都合等で全員の参加が難しく、横の繋がりが出来にくい。	研修会等計画的に声掛けしていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用契約時や個人面談、送迎時や場合によってはライン等を活用しながら丁寧に聞き取り、計画に反映している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		家族の意見を聞きながらサービス提供に努めている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		保護者の同意の上でサービスを行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		希望に応じて受付けており、面談もしっかり行い、保護者の思いを受けてつなげている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会自体は開催していないが、保護者、ご家族を含めたイベントを4回ほど設けている。	保護者同士でも関わりが持てるような環境づくりをしていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		迅速かつ適切な対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ラインでタイムリーにイベントの様子を配信したり、HPやインスタグラムを通じて発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き書庫に保管されている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		一人一人に合わせた情報伝達に配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域の方との交流イベントを実施している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルは策定しており、定期的に訓練を実施している。	様子をお便りなどでご家族にも配信していこうと思う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）は策定しており、必要な訓練、研修を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメント聞き取り、確認をしっかりとっている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アセスメント聞き取り、対応をしっかりとっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		見直しを含めて安全管理に配慮している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に説明を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		情報共有し、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		適宜に研修を実施している。	様子をお便りなどでご家族にも配信していこうと思う。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		対象児はいないが、研修を実施している。	